

事業	事業項目	内容	担当	備 考													
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
事業 出 ・ 市 場 開 拓	中期事業計画に掲げる「目指す姿」の実現に向けて、「会員企業が顧客や大学、自治体などとの連携を通して、新たな事業を共創するためのデジタルエコシステム構築を目指す」をミッションとして、引き続き内外の協力を得ながら事業に取り組む。	「 事業共創 (委)															中期事業計画に掲げる目指す姿 ・企業側からの提案により、行政機関や大学から事業創出や市場開拓への協力を引き出している ・活動意欲があり機動力に富む協働プロジェクトをタイムリーに組織し、多くのビジネスチャンスを生み出している ・異業種企業との連携により、ユニークな商品やビジネスモデルが生まれる ・広範な情報アンテナにより異業種ニーズを検知できる ・国内外の企業から協業の打診がくる
	新規事業構築ノウハウ・ナレッジの獲得(DX、アイデア創出、スタートアップ、M&A、資金調達方法など) I-2-2.2-(1)	MISA会員企業やその顧客が新たな事業を起こすようなチャレンジが進む状態になるよう、ノウハウやナレッジを獲得する 例) ・新規事業アイデア創出塾&アイデアソン実施 ・今さら聞けないDXとは？セミナー ・スタートアップセミナー ・M&A(合併・経営統合)セミナー ・資金調達セミナー	〃		○		○		○						○		①第1回生成AIセミナー ・開催日:令和5年10月31日(火) オンライン開催 参加:25名 (講師:MAKOTO社 竹井社長) ②第2回生成AIセミナー ・開催日:令和6年1月17日(水) オンライン開催 (講師:小泉氏,当委員会メンバー) ③第3回生成AIセミナー ・開催日:令和6年3月13日 (講師:Kanda Quantum社 元木社長)
	事業テーマ別部会(プロジェクト的な時限組織)の発足・運営 I-2-2.2-(2)	県内への各種企業の進出に伴い情報サービス産業への波及効果の期待される分野について、関連団体などとの連携により新たなビジネス創出のシーズを探るべく部会を発足。各部会のリーダーを選出し、それぞれ運営を行ってもらう。 ・製造業向け事業部会 製造業との異業種交流を行うためにみやぎ工業会の活動に参加し、地域のIT化へ貢献する。 ・農業向け事業部会 農業生産法人との異業種交流を行うために、宮城県農業法人協会の活動に参加し地域のIT化へ貢献する。 ・ウエルビーング分野向け事業部会 ウエルビーイングの研究会としてFWBC(仙台フィンランド健康福祉センター)との連携促進	〃														①製造業向け事業部会 12/20みやぎ工業会・梵天会「令和5年度第1回研修会」へ参加 参加:37名 講師「宇宙ビジネスの現状と参入機会」 講師 Sapce BD社 星野氏 講義2「物体表面の流れの科学による次世代輸送機革新」 講師 東北大学流体科学研究所 梶野氏 1/18(水)みやぎ工業会 第52回 新春産学交流大会 演題「東北から宇宙へ」～宇宙市場 100 兆円時代の、企業と宇宙の関わり～ 講師 株式会社 ElevationSpace 代表取締役 CEO 小林 稜平 氏 2023 第 16 回みやぎ優れ MONO 認定式 ②農業向け事業部会 6/7 農業法人協会 通常総会 参加4名 6/7 農業法人協会 農業法人セミナー 参加2名 10/5 フードビジネス検討会 参加0名 12/19 農業法人協会 農業法人セミナー 「子実トウモロコシを加えた輪作体系の確立に向けて」 「農福連携の取組みと従業員が働きやすい環境整備について」 ③ウエルビーング分野向け事業部会 FWBC IT事業者と考える5年先の介護施設意見交換会 (事業化の確度など継続調査中)
	行政や大学・高専など地元との学校とのシーズ・ニーズ交換会の開催 I-2-2.2-(3)	産学官連携の強化を主眼に次のような施策を計画・実施する。 ・行政施策に関する説明会、およびハネルディスカッション実施(シンポジウム形式) 東北経済産業局、仙台市、宮城県より情報提供いただきつつ、皆で宮城・東北の未来を語り、お互いに求めるものは何なのかを確認し合う ・産学官連携で地方創生、地域課題を解決するスキーム作り 例)仙台・東北DXエコシステムへの参画・連携 狙い:地域課題の解決に向けたIT利活用の仕組み構築 例)人材開発委員会と共同でインターンにてハッカソン計画し実施 ・政策提言委員会との連携 どんな政策を提言するかを例会にて議論	〃														①行政施策の関する説明会、およびハネルディスカッション実施 東北経済産業局、東北総合通信局、東経連、仙台市、宮城県等関連機関とのハネルディスカッションを実施。12月撮影、1月PRタイムとして放映し現在1400視聴。 ②産学官連携で地方創生、地域課題を解決するスキーム作り 東北大学ナレッジキャスト(株)様との連携 →来年度以降、補助金を活用し共創・協業を検討していく ③政策提言委員会との連携 開催しておらず連携なし ④加美町からの地方創生についての相談(7/31) →進展なし(町側から具体的な依頼事項待ち)
	他業界団体・協会等との連携・協力 I-2-2.2-(4)	今まで交流を図ってこなかった他業界団体・協会などと積極的に連携・協力の可能性を探るべく、まずはコミュニケーションを図る。ベストなケースのイメージとしては、各団体から業界構造についての説明と、少子高齢化など東北の地域課題に直結する業界課題についてお話しいただくような場を設けるなど。 例) ・仙台市産業振興事業団 ・仙台市民文化事業団 ・仙台市スポーツ振興事業団 ・仙台観光国際協会 ・全日本不動産協会 宮城県本部 ・みやぎ産業振興機構 など	〃														①以下の団体と連携 一般社団法人DX NEXT TOHOKU(新春座談会共催) 一般社団法人EO North Japan(エコシステム構築に向け連携) 一般社団法人ベンチャー型事業承継(アトツギ経営者のDX支援スキーム構築に向け連携) ②東京都情報産業協会との連携 → 進展なし

(注)1.事業項目欄の()内は事業計画書本文の項目Noを示す。